

第7回 先進科学セミナー
広島大学 宇宙科学センター
川端弘治 准教授



“ 呑まんと持たないよ：
壮絶な星の最期とガンマ線バースト・重力波”

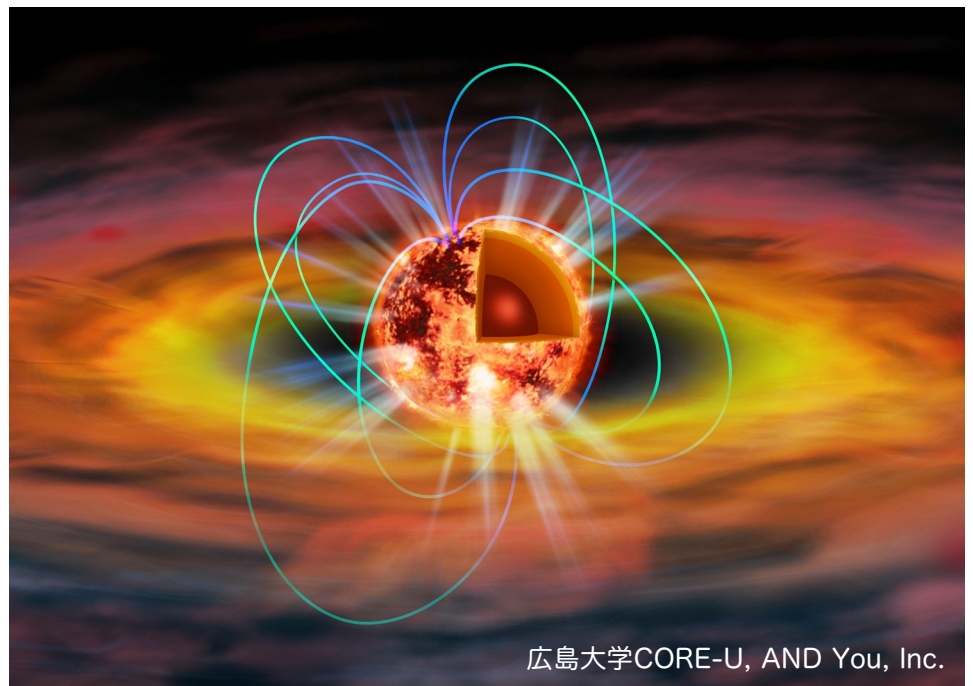
恒星はやがてその死を迎え、その中心に白色矮星、中性子星ないしはブラックホールを残すと考えられています。口径8-10m望遠鏡が本格的に活躍しだした2000年代より、正体が不明だったガンマ線バーストに付随した超新星が発見されるなど、大質量星の壮絶な最期の様子が次第に判ってきました。そして昨年、予想し難かった質量を持つブラックホール連星からの重力波が発見され、業界が大いに沸いています。それらの最新の研究成果を、我が広島大の活躍も含めて紹介したいと思います。(呑まんと...の真意は講演にて)

日時：

12月9日(金)

16:30-18:00

場所：津山高専
合併教室



広島大学CORE-U, AND You, Inc.

学生、教職員の皆さま、気軽に参加してください

問い合わせ先：前澤孝信（先進科学系）maezawa@tsuyama-ct.ac.jp